



ゆうがた で にちせいてん つづ ほんとう
夕方、にじが出ると、2、3日晴天が続くって本当なの

せいてん つづ 晴天が続きやすい

あめ あ そら いろ にじが まる はし で
雨上がりの空に、7色のにじが、丸い橋のようになって出ているのは、たいへん美しい
ものです。

てんき ひ なつ ゆうがた らいう ふ つよ なつ たいよう ひかり
天気がよい日の夏の夕方に、雷雨が降ることがよくあります。強い夏の太陽の光によっ
て、地面が暖められると、地上の空気が軽くなって上にのぼります。そして、上空に特に
冷たい空気があると、積乱雲が発生して、雷雨になります。

たいへんよう こうきあつ いきお つよ ていきあつ とお ひ
このようなときは、太平洋の高気圧の勢いが強く、低気圧が通ることができないので、日
で照りが続きます。

ゆうがた で てんき にちつづ
それで、夕方、にじが出ると、天気が2、3日続くといわれています。

にじのできかた にじのでき方

たいよう はんたいがわ あめ ふ あめ あ ちひょう そら
にじは、太陽と反対側で、雨が降ったり雨上がりのときに、地表から空にかけてできます。
にじは、太陽の光が雨つぶにあたり、くっ折（折れ曲がる）したり、反射したりしてでき
ます。

たいよう ひかり しろ いろ あか き みどり あお
太陽の光は、白っぽい色をしています。赤、だいだい、黄、緑、青、あい、むらさき
の7色の光が、混ざりあってできています。それは、プリズム（三角柱の厚いガラス）に
たいよう ひかり いろ わ いろ たいよう
太陽の光をあてると、7色に分かれることからわかります。にじが7色になるのは、太陽の
ひかり あめ いろ ひかり わ
光が雨つぶにあたって、7色の光に分かれるからです。（監修・村山 貢司）

